



平成23年5月26日

理科教育の充実を担う教員の養成

岡山大学では、小・中学校の理科教育の充実を担う教員を養成するための特別なプログラムを開始しました。これは、科学技術振興機構（JST）が展開する「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築事業」に、岡山大学と岡山県教育委員会が共同提案した企画が平成22年度に採択されたことによるものです。本養成プログラムは、CSTに必要な力を科学構成力、教科構成力、研修構成力の3つのカテゴリーに構造化し、理工系4学部及び教育学部の学生を対象に多様な内容の講座を提供し、地域の理科教育において中核的な役割を担う小・中学校教員の養成を図ろうとするものです。

<内容>

平成22年度に岡山大学と岡山県教育委員会が共同提案した「科学の醍醐味を教科構成力・研修構成力に展開できる理数系教員養成ネットワーク拠点形成」が、科学技術振興機構（JST）が展開する「理数系教員（コア・サイエンス・ティーチャー：CST）養成拠点構築事業」に採択されました。本事業は、文部科学省の理数教育充実施策の一環として中核的な役割を担う小・中学校の教員を養成しようとするもので、例えば理科の学習指導に対して苦手意識をもつ小学校教員に、理科の楽しさを伝えたり理科の授業の実施を支援したりできる教員を学校現場に送り出すことを目的としています。養成のための特別プログラムでは、理工系4学部及び教育学部から選抜した学生を対象に、岡山大学の教育系と理工系の豊富な教授陣と学校現場に詳しい実務家教員が共同して、科学構成力探究講座や教科構成力探究講座など、先端科学から実践的指導に関する内容まで様々な内容の講座を提供します。また、岡山県、岡山市、倉敷市の教育センターと連携して理科を学校現場に広げるための研修構成力の育成を図ることを視野に入れた内容も位置付けています。プログラムは大学2年次から大学院修士課程までの5年間を予定し、本格的な実施をこの秋に控えて試行を始めました。また、既に現場に出ておられる先生方を対象にしたプログラムについても教育委員会と調整を進めています。これらが学校現場の理科教育の充実と推進を図るものとなるよう取り組んでいきたいと考えています。

<お問い合わせ>

岡山大学 教師教育開発センター

山崎 光洋

（電話・FAX番号）086-251-7730